



# The Hitoyoshi Rotary

人 吉

## こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

通 算 2696回  
2012年3月9日  
第33回例会  
毎週金曜日

Reach within to  
Embrace Humanity

会報編集 塚本哲也委員長

2011-2012年度 R I 会長  
カルヤン・バネルジー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

### 3月 識字率向上月間

点 鐘	山賀勝彦副会長
歌 唱	ソングリーダー 淵田SAA委員 国 歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」
司会・進行	葉山プログラム委員長
来訪者紹介	山賀勝彦副会長 球磨地域振興局長 白濱良一様

#### 会長の時間

山賀勝彦副会長



本日は宮原会長・馴田幹事・中島ガバナー補佐・中川地区指導委員が、本日2時からの会議に出席されますので、会長の挨拶は私がピンチヒッターとして代役を務めさせていただきます。

先週の土曜日は、環境保全委員会延岡委員長の呼びかけで、九州電力(株)熊本支社と人吉市の森づくり協定に基づく『九電の森ひとよし』植樹活動が下永野町市有林の植林会場で行われました。植林作業には九電関係者を中心に、みどりの少年団・ボランティア・住民の方々など約850人の参加があり、クヌギやナラ・カシ等の広葉樹の苗木1万本を植林しました。人吉ロータリークラブからも延岡環境保全委員長以下6名とその家族が参加されていましたので、詳しくはのちほど委員長より会務報告があります。

しかし、私も70歳を過ぎての参加でしたので、急斜面を登っての植林作業は体に堪え、1人20本の植林ノルマの半分ぐらいでダウンしてしまい、皆さんの足手まどいになったものと反省しています。植林のあとは、地元婦人会の方々のおにぎりやツボン汁で満足して帰ってまいりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。

私はこの度の植林ボランティアへの参加にはある意味がありまして、それは戦後の山林伐採

のあとに針葉樹を多く植林した為に、大雨が降るとすぐに川が増水し、下流域に多くの氾濫被害が発生しました。これは、針葉樹の保水力が弱いためだと云われています。これらの被害を防ぐためにも山のダムといわれる広葉樹を植林するのは意義がある事業だと思います。また、近頃大雨のあとの球磨川、特に川辺川の濁りがいつまでも続くと云う現象は、先程の針葉樹の問題と共に、近年この人吉・球磨地区には野生のシカやサル・イノシシ等が増えて、山林や農産物の食害が深刻化しています。これも山が荒れる一大要因であり川も濁り、下流域の八代海の漁業にも影響し、また、名物の鮎漁にも多大な影響をもたらします。そう云う意味でも森林の保全が重要であると私は考えますので、この九電の森ひとよしの植林事業が、今後8年間続けられると云う事ですので、今後とも是非参加したいと思います。

次に、次年度のガバナー訪問の日程が先日の被選理事会で決まりましたので、お知らせします。

日時は、8月17日(金)で、人吉・中央・多良木の3クラブ合同開催と決定しました。これは、次年度ガバナーが10月中旬に全クラブ訪問を終了したいと云う意向のようで、会場はこの『あゆの里ホテル』を手配されているようです。いよいよ明日は地区大会です。早朝出発となりますので宜しくお願い致します。

来週の17日(土)・18日(日)は、地区研修セミナーと会長エレクト研修セミナーが大分で開催されますので参加して来ます。

本日は球磨地域振興局局長の白濱良一様に外部卓話をお願いしてありますので私の拙い挨拶を終わります。ありがとうございました。

#### 幹事報告

浅野 強副幹事

#### 【連絡事項】

①2720地区本田ガバナーより国際大会についてのお尋ね — 地区主催で約90名の参加がありました。個人手配及び他の旅行業者利用で参加の方はお知らせ下さい。

②2720地区ブライダル推進大庭佳美委員長より  
2012年3月以降のスケジュール表届きました。  
社会奉仕水野委員長へ

③地区大会参加の方で釜田醸造所駐車場でバス乗  
車の方は私までお知らせ下さい。

**【例会変更・取止め】**

熊本北RC 3/15→18:30～親睦例会の為 アンジェロ  
熊本中央RC 3/23→職場訪問の為 JR熊本駅  
4/13→18:30～合同例会の為 全日空ホテルニュースカイ2F

**【配布物】**

Rの友3月号、ガバナー月信3月号  
人吉RC2/24.3/2会報 2月末出席率個人別一覧表

**【回覧】**

健康保険人吉総合病院広報誌「翔」

**【3月2日定例理事会報告事項】**

- 赤山ガバナー年度 人吉RCからの地区副幹  
事選出について→尾方芳樹会員、有村孝徳会員  
の2名を選出する。
- 芦北RC創立40周年記念式典登録について  
→出席者のみ登録
- 人吉球磨上映推進委員会より、映画「エクレー  
ル・お菓子放浪記」東日本復興支援上映協力に  
ついて（入場券の販売依頼）→承認

**出席率報告**

岩井和彦委員長

本日の出席率			
会員数	68名	75.38%	
出席免除	5名	2/24例会出席率	80.00%
欠席者数	14名	補 填 数	11名
出席者数	49名	修正出席率	96.92%

**\*届け出欠席**

川越・有村・岩本光・渡辺・石原・北・宮原・馴田  
中川・中島・友永・小林祐・外山・大賀

**\*出席免除会員**

(a) 石蔵, 齊藤 (b) 増田, 愛甲康, 山本

**メイクアップ**

台北稻江RC ; 宮山・大賀・友永・鳥井・山賀・伊久美  
山田・井手・平田・青木・浅野

**会務報告**

**【雑誌委員会】**

鳥井正徳委員長

友の紹介の今後のやり方について

本日、皆様のお手元にロータリーの友3月号が  
配られております。これまで皆さんは友の紹介日  
に初めてページを開いておられましたが、これでは  
紹介者だけが読んで中味を分かっているだけで  
ありまして紹介に力が入りませんし、盛り上がり  
に欠けるように感じます。

本日から一週間、この本を熟読していただく期  
間を設けます。次の例会日に持参して下さい。  
初めての試みですが宜しくお願い致します。

**【環境保全委員会】**

延岡研一委員長

「九電の森ひとよし」に参加して（報告）

3月3日（土）九州電力熊本支社が行った、九州  
ふるさとの森づくり「九電の森ひとよし」（参加  
者850名）に会員に加え従業員、家族など24名が  
参加し、上戸越町の植林会場（1haに1万本）で  
の植樹を行いました。もちろん九電の片岡所長ご  
夫妻も参加され、前任の田上さん、前々任の山平  
さんもお出ででした。連日の雨模様の中、この日  
だけが晴れ間が出て絶好の植樹日和となりクヌギ、  
コナラ、イチイカシなど8種類の広葉樹の苗木を  
植えました。西瀬小学校で行われた開会式では、  
熊本RC会員でもあります九州電力の葉真寺  
偉臣（ひでおみ）支社長から、ご挨拶の中で、九州  
電力及び関連・協力会社の社員・家族に加えて、  
地元の緑の少年団と人吉RCが植樹に参加している  
ことを紹介して頂き、クラブのPRにもなったか  
と感謝する次第です。来年以降も4年間継続する  
事業ですので、クラブとしても参加者がより多  
くなることを期待します。ご参加いただきました  
皆様、ありがとうございました。

**【ローターアクト委員会】**

立山茂委員長

3月16日（金）の第2例会を、3月30日（金）に変更  
します。その日はひまわり亭で行われます馬頭琴  
演奏者の美炎（みほ）さんのコンサートへ参加  
し、そして田舎で働き隊で来ていたひまわり亭の  
宮崎薫会員が3月いっぱい退会のため、そのお  
別れ会も兼ねています。

時間は午後6時から、会費2千円です。

参加の方は28日までにローターアクト委員会ま  
でお知らせ下さい。演奏は屋外で行われるため暖  
かい服装でお越し下さいとのことです。

**【社会奉仕委員会】**

水野虎彦委員長

東日本大震災復興支援

人吉球磨観光カレンダー決算報告

皆様在去年から大変ご尽力頂きました観光カレ  
ンダーの収支を報告致します。～（説明）

これから収益全額を支援金にあてますが、支援  
方法については現在検討しております。

以上、ご報告します。

**【プログラム委員会】**

**外部卓話**

講師紹介

水野虎彦委員長

白濱良一様（55歳）

昭和54年 九州大学法学部卒業

同年 4月 熊本県庁入庁

〃～平成22年（宇城事務所福祉課、農政部農業  
団体金融課、天草事務所総務振興課、総務部地方  
課、土木部監理課、教育庁学校人事課、上益城地  
域振興局、農林水産部首席農林水産審議員、等）  
平成23年4月 球磨地域振興局長

単身赴任中（自宅 熊本市）

趣味 読書、ツーリング

球磨地域振興局長 白濱良一様



私が今から話す人吉球磨のことについては、皆さん十分御案内のことと思いますが、とりあえず私の頭の整理のために一度人吉の印象、イメージなどを話させて頂きます。私が話している間にそう

じゃないと色々思われるかもしれませんが、そこはお叱りでも何でも受けますのでご容赦下さい。

人吉について、思うところがあれば何でもいいから、話してくれということだったのですが、考えてもなかなか出てこないもので、まあざっとした統計あたりを眺めてから感じたことを、申し述べて見たいと思います。

まず、ちょっとイメージから申しますと、高速道路の開通及び市内幹線道路の整備により、交通の便は格段に向上したけれども、それまでの商店街的店舗から外部資本による郊外型大型店やコンビニエンスストアが店舗の中心になるようになり、市内中心部はきれいにはなったが、空洞化が目立っているような印象を受けます。

また、観光業でも観光客全体に対する宿泊客の比率減少、ドライブイン型レストラン・みやげ店の閉鎖という問題が出ているけれども、これといった解決策は見出せていないのが現状かなと思います。

また、かつては農林業と酒造で栄えたけれども、今は農林業の衰退によって活気が薄れ、近年では高齢化と過疎化が著しいですね。人口は直近の国勢調査で、5年前の前の調査と比較して、球磨人吉で5千人以上減り、ついに10万人を割り、約9万5千人となりました。人吉市が2千人減ですか。ちょっとびっくりする減少率ですね。

人吉は明治までは、一番の 城下町、明治以降も球磨郡役所がおかれるなど球磨地方の中心地としての地位を維持してきました。市制施行も昭和17年、熊本、八代に続き、県内では3番目の市として、品格の高さを誇ってきました。

昭和初期には、温泉の採掘が盛んとなり、日本二五勝のひとつとなった球磨川とともに宣伝されるようになりました。1933年頃には、球磨焼酎や球磨川下りとともに「泉都人吉」と称されるようになりました。1963年頃から3年連続で続いた水害は市街地の景観を一変させ、1970年代に開通した国道219号線のバイパス道路沿いには新たな商業地域が形成されていったわけです。かつて陸の孤島といわれた人吉は、1960年代以降人口減が続き、この対策として、観光業や農林業の振興や企業誘致を掲げ、対策前は年70～80万人ほどであった観光客数も1990年には

100万人を突破しました。しかし、高速の全線開通などにより、拠点性を失い「通過都市」となりつつあるところから、今は「物語都市ひとよし」構想による地域活性化を図っておられるところですよ。

第一次産業の大部分を占める農業をみると、人吉市は土地の多くがシラス地質であり、盆地という地形風土から、平地が少なく、零細な農家が多いうえ、盆地という特性から気象条件も厳しく、発展的な要素が見出せない状況です。代表的な農産物は、水稻、茶、たばこ、栗などですが、生産者数は減少しております。2005年現在で、農家数約1407戸、うち専業農家は254戸しかなく、自給的農家471戸を下回っております。粗生産額も約34億円程度と低く、付加価値の高い農産物や、地形風土に適した独自の産物を見つけられない限り、発展的な要素はあまり期待できないと思います。ただ、水、空気、土地は清く、安全安心なイメージが浸透しておりますので、そのイメージを生かした食品加工業は成り立つ可能性はあります。県としても人吉・球磨を次期マニフェストでフードバレーとして位置づけていく戦略をもっています。

第二次産業をみても皆様ご承知のとおり、厳しい状況にあると思います。製造業等の工業にしても、かつて「陸の孤島」と呼ばれていたわけですが、数十年前までは、山間部の盆地という地形的な条件の不利さに加え、風水害等により交通が遮断されることが多く、なかなか発展は難しかったわけですよ。九州縦貫道が開通し、交通状況は劇的に改善されましたが、それまでは球磨川沿いに八代にぬける、国道219号線が主要な幹線道であり、大雨による冠水や崩落により、しばしば外部との交通が麻痺しておりました。高速の開通により、企業誘致に力を入れておられるけれども、現下の厳しい経済状況下では企業誘致は難しく、その成果は顕著にはみられません。

その中でも工業においては、地場産業である球磨焼酎の出荷が多くなっております。球磨焼酎は、国際的に通用する酒類の「地理的表示を保護する法律」により、球磨焼酎の原産地は保護特定されており、人吉・球磨地方以外で製造されたものには、「球磨」という産地名が使用できず、特産品として大きな価値を占めていることは言うまでもありません。酒造元は28を数え、銘柄は140を超えており、観光資源としての利用価値も高い。ただ、現在アルコール消費量は全体的に減少傾向で、特に若者のアルコール離れが進み、球磨焼酎もここ数年減少トレンドに入ってきています。認知度においても、鹿児島や大分の焼酎に大きく遅れをとっており、今後若者に受ける飲み方の工夫が求められているところですよ。ただ、若年層の人口も急激に減少し、高齢になると、あまり量は呑まないというトレンドからすると、消費数量の増加は望めま

せん。

第三次産業についてみると、「卸、小売、飲食業」の割合が高くなっていますが、これは人吉には相良氏が居城をおき、鎌倉時代から幕末の約700年にわたり統治していたことの影響が大きいものと思われます。

人吉は、10数万人を支えてきた城下町として、自然と人と物が集まったため、商業は発達をみせました。「球磨川下り」と温泉の相乗効果で、観光業も盛んであり、往時は経営努力をあまりしなくても集客が可能な状況をつくりだしていたわけです。

しかし、反面で、全国的な傾向ですが、共同で商業を盛り上げるといふ姿勢もあまりしなかったのか、近年においては、急激な商店街の疲弊が目立っていると思います。

特に、1990年初頭に、錦町に郊外型大型店が出店したことを契機として、人吉市民の消費行動に大きな変化が生じたと聞いております。郊外型大型店の出店が相次ぎ、中心市街地では閉店する店舗が多くなっており、郊外でもコンビニエンスストアの出店などで、地域に根付いた零細小売業の多くが閉店を余儀なくされております。

人吉市と商工会議所が主となり、中心市街地の活性化などが図られてはいるものの目立った効果は見られていないと思います。現在では、郊外型大型店同士の競争が激しくなり、閉店と出店が繰り返されている状況のようです。

このように、いずれの産業においても今後の展望が明るく開ける可能性が薄く、人吉市の基幹産業ともいえる観光業においても往時の勢いはありません。九州自動車道の八代～人吉間の開通により、日帰り客は一時増加したものの、以降目立った増加はなく、宿泊者数も増減を繰り返しております。

人吉市の観光業の中心である「球磨川下り」と温泉も今日の旅行者のニーズを捉えきれず、嘗ての勢いはないようです。手軽な旅行が好まれる中、1回で1時間半かかる「球磨川下り」は敬遠され始めているようです。移動手段として車を使う旅行者が多くなったため、球磨川下りの場合は、車の始末に困るわけですね。時間がかかり、面倒なことを少しでも避けたいのが現代人です。また、特に若者は、想像を絶するスリルを体感できるアトラクションが各地にあり、川下り程度では満足できなくなったという側面もあるかと思えます。

温泉についても、市内に20箇所を超える数があり、泉源の温度がそれほど高くないため、湯煙などがあまり見えず、泉質も透明なものが多いため温泉地と知らぬまま帰る人も結構いると聞きます。別府なども旧来型の温泉地といわれているが、別府は多くの旅館・ホテルを擁し、また、日本一の湧出量を誇り、泉源温度も高いため、市内各所から湯煙が立ち上る、見るから

に温泉地としての景観を呈し、全国的にも九州の温泉と言えば「別府」といわれるくらいその名は鳴り響いています。その別府でさえ、近くの湯布院や黒川など規模はそれほどでもありませんが、センスと高級感、手作り感を持ち合わせた温泉地には苦戦しているようです。

現在温泉地を訪れる観光客が求めるものは日常を離れて非日常に存在する癒しと言われている。県内で言えば、黒川温泉や岳の湯、禿の湯等涌蓋温泉郷、平山温泉、その他阿蘇九重方面の日常性を感じさせない温泉地であります。これらは、元々の自然を生かしながらも、人工的に現代人が受け入れてくれる洗練された理想の非日常的空間をつくったからこそ、成功したものといえましょう。設備面も数件の大規模ホテル、旅館を除いて、温泉というよりむしろ銭湯に近いものが多いため、温泉地としてのイメージが薄れてきており、経営者の高齢化や施設の老朽化も目立ちます。これにあえて人吉ならではの観光をあげよと言え、国宝の青井阿蘇神社、相良三十三観音、球磨川下り、夏のラフティング、これくらいしか思いつかないのであります。これだけでは滞在時間を長くしろといわれてもなかなか難しいと思います。もちろん阿蘇九重霧島といった雄大な自然というものがないのも大きなハンディにはなっています。

街並みを考えれば、日田市の豆田町や豊後高田の昭和のまち、長野の小布施町みたいなものができればおもしろくなる可能性は秘めていると思います。人吉で言えば、鍛冶屋町通りみたいな通りがあと2、3本あれば十分な話題性があるし、観光客は必ず増えると思います。まちの魅力を増さない限り、観光客は来ません。旅館の魅力だけ増したり、誘客、外向けのプロモーションのみを行っても、大きな効果はないと思っています。しかし、まあこうしたことは行政主導では、なかなか難しく、そこに住んでおられる住民の方々が主導的に、よし、自分たちの町を何とかしようというような意欲がないと難しいと思います。さらに言えば、こうしたプロジェクトを引っ張る人がえれば、話は進んでいきます。皆が評論家では事は進みません。今、話題になっている町には必ず1人ないし複数のリーダーがいて、地域の住民をまとめ、町を1つのコンセプトで作り直しています。

また、市の中心部にしても、球磨焼酎をはじめとする土産物を扱う商店も少なく、駐車場の整備も進んでいません。それと焼酎以外の女性や子供向けの土産物の開発も欠かせませんね。

実質的な物産館である石野公園も遠く、品揃えも十分でないため、買い物を楽しむという旅行者のニーズに応え切れていません。熊本城の城彩園みたいな人吉城の景観に合わせた買い物や飲食ができる施設ができれば、結構集客し、賑わいを取り戻せるのではないのでしょうか。ただ、そういうことをやろうと思っても、如何せ

人吉市には財政的にほとんど余力がなく、文化財保護の関係もあり、簡単にはいかないかもしれません。

このような産業の状態では、税収も上がり、市の財政にも厳しいものがあり、市の歳入の半分以上が地方交付税を主とする依存財政で占められており、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費を主とする経常収支比率もきわめて高く、99.8とほぼ100に近く、県下でも最下位です。税の徴収率も熊本市と県下最下位を争っている状況です。これほど不自由な財政状況で、市独自で何かやろうと思っても自由になる財源がほとんどありませんので、人吉市の新規事業実施は極めて困難です。65歳以上の人口割合も30%を超えており、今後福祉面での財政悪化で、特に扶助費の著しい増加は免れず、経常収支比率の改善は望めない状況です。

以上、人吉市の産業とまちづくりの現状について触れてきましたが、いずれにせよ、市のおかれた現状は楽観視できないものがあると思われます。現状が続くならば、緩慢ではありますが、非再生的なまちの疲弊が進行していくのは論を持たないところであります。

人吉市の振興を考えた場合、あえて言えば、やはり観光業を中心とした振興策がもっとも現実的であると考えます。人吉市の現状としては、少子高齢化や過疎化が進み、モータリゼーションの進展により、市の中心部の空洞化が進行している。このような状況においては地域の振興策はある程度限られてきます。特に市の経済基盤が弱体化し、地方交付税などの縮小も考えられるなか、ハード面整備による地域振興は難しいです。確かに、ハード面整備による一時的な振興は可能かもしれないが、「石野公園」にみるように、その後の維持管理費や運営の難しさを考えると、市の財政も厳しいなか短絡的なハード面の整備は避けられるべきだと思います。

また、長期的な円高デフレ不況かつ日本自体の製造業が空洞化し、景気低迷が見られる中で、人吉市の進める企業誘致による地域振興も直ちには、難しいと考えます。雇用創出のためには即効性のある有効な手段であることは間違いありませんが、元来、人吉市は内陸の盆地に位置し、近年は交通網の整備は進んだものの、台風や郡市に出入りする交通網が限られる関係で、現在も交通網が麻痺するなどの問題があり、企業誘致は容易ではありません。

農業の面においても高齢化と後継者不足が進む中、土地を集積することも困難で、農業の大規模化も困難と思われ、今後の発展は難しいものがあります。

商業においても郊外型大型店の出店や景気後退を受け、加えて急激な人口減少で将来性は必ずしも高くありません。

このような状況においても、観光業はある程

度の施設の蓄積や・充実がなされており、多くの観光資源もあることから、現状では振興の可能性は比較的高いと考えます。

特に、他地域と比較して優位性を誇れる資源としては、河川を中心とした多様な自然資源があげられます。これまでの人吉市の観光においても、温泉とともに「球磨川下り」が観光の主要なものであったことが示すように、その観光資源的価値は従来から大きいものがあります。過去には、人吉市を訪れる観光客のほとんどが球磨川下りを目的としており、年間乗客者数のピークは、1981年の13万7千人と現在の倍以上を誇っていました。ここ数年は年間4万人台で乗客数が推移していましたが、一昨年は宮崎の口蹄疫の問題などもあり、3万8千人程度に止まりました。昨年は挽回の年と位置づけて5万5千人の乗客数を目標に掲げていましたが、東日本大震災による観光自粛ムードに加え、天竜川の事故が追い打ちをかける形になりました。ここまで減少はしましたが、これは河川への魅力が低下するものではないと考えます。

球磨川下りが乗客数の減少を見せるなか、近年においてはラフティングと呼ばれる川下りが乗客数を増やしております。これは吉野川、利根川、長良川などでも行われており、九州ではラフティングができるのは、現在、球磨川や川辺川などの球磨地方の河川のみであります。現在、ラフティング業者は19社存在し、県内外から若者を中心に客を増やしています。1993年に初めてラフティング業が始められたときは年間数十人だった乗客数もアウトドアブームなどの高まりで、現在では年間1万人を超える客を集める業者さんもいると聞いています。これは高速道路などのアクセスの利便性と、都市部の近くでラフティングができる川が少ないためであるといわれています。リピーターの数も多く、体験者の口コミから訪れるものも少なくないと考えられます。これと、まだ構想段階ですが、五木村が考えているバンジージャンプを組み合わせると面白いんじゃないかと思えます。

また、球磨地方は、隔絶された地理的条件から、鎌倉初期から明治に至るまで「相良七百年」とよばれる相良藩による永い治世のもと、多くの文化財が存在しています。人吉市の中心には相良氏の居城・人吉城が存在するのをはじめ、民謡にもうたわれる青井阿蘇神社など、長い歴史による生活の営みの反映された人文的な資源も多数存在します。球磨焼酎という産物もあり、観光資源という側面から考えれば、人吉市はかなり他地域に比べても優位性をもっているといえます。ただ、若年層は文化財や焼酎にはあまり興味を示さないようです。

観光業はほぼ横ばいくらいですかね。これは往時から近年まで、球磨地方の中心地として自然に人と物が集まり、また、観光面においても、多様な観光資源が存在したため、端的にい

うとあまり努力をしなくても、それなりの経済収入や集約が見込めたためであります。観光業において、団体から個人へのトレンドをしっかりと捉えるなど、大きく変化するニーズに対応できないでいます。この様な状況を打開するには、地域の実情や意見を取り入れた、コンセンサスの形成を図り、自助努力による振興が必要であると考えます。

今、観光統計では個人対団体の比率はざっと言って8:2、中でも一人旅行だけは年を追って確実に増えています。個人旅行になると、行きたい人しか行かない。こういう人たちをリピーターとして取り込むべきだと思います。「人吉大好きな人」を顧客化し、名簿を作って毎年ダイレクトメールを送るなど、リピーターにしていくことを考えると工夫すべきだと思います。特に協働の概念のなかで必要なのは、多様な人が参加し、みんなで協力していくことであります。多様な人が参加する中で、様々な視点で物事が捉えられていく。地域にとっては、ありふれた存在でも、違う視点を持つものが見ることで、意外な価値が見出されることもあります。統一した街並みを形成していくためにも、そこに住む人々のコンセンサスと協働意識がないと、物事は絶対前進することはありません。観光人吉を復活するためには、こうした意識は絶対欠かすことはできません。別府のジャパン・オンパク代表理事の鶴田浩一郎氏はホテル経営の傍ら地域づくり活動に参画し、別府の温泉、環境、人などの地域資源を生かしたハットウ・オンパクを展開し、注目を集めています。その鶴田さんが先月24日、うちの振興局で講演していただいて、「観光地はどこも同じ悩みだらけ、この20年間同じ仕組みと体制でやった所はマイナス。うまくいっている所には、まちづくり系の団体がある」と指摘されました。「旅行先を決めるのは女性。女性が好む商品を理解できる人でないとつくれない。人吉に「しかないモノ」を見つけること。一生懸命誘客しても、まちの魅力を増やさない限り、お客は来ない」などと自らの実践を交えて話されました。

以上、地域振興の展望と課題について、述べてきましたが、多様な自然環境など、人吉市のもつ固有な資源を生かした地域振興は可能であると考えます。特に観光業においては黒川温泉にみるように、交通の便が悪くても魅力的な地域を形成すれば観光客などの集客は十分可能であり、内陸部に位置することによるアクセス面のマイナスもカバーできると考えます。

また、人吉市の地域振興を考えるうえでは、行政や公的団体への依存体質から脱却したうえでの、コンセンサスの形成と、協働意識の形成は欠かせないものであると考えます。歴史と文化を生かし、住民協働でまちづくりをするならば、きっと活路は見出していけるとおもいます。

地元の事情もよく知らない県の職員の拙い話にお付き合いいただきまして大変ありがとうございました。人吉市在住の要人の方々に武者つけて話をするのは本当に汗顔の至りでした。



#### 【ニコニコ箱委員会】 有馬宏昭委員長

- **有馬宏昭会員** 白濱局長、本日は貴重な卓話ありがとうございました。土日もなく、人吉球磨地域のためご尽力頂いておりますことに心より感謝申し上げます。
- **立山茂会員** ①白濱局長よくお出で下さいました。地域づくりではいつもお世話になっております。②昨日岩本泰典会員とゴルフを一緒にさせて頂きました。ゴルフに対する愛情と私への思いやりある指導に感激し、これからは師として仰ぐことに決めました。岩本会員宜しくお願いします。
- **浅野強会員** 白濱局長様、卓話有難うございました。延岡さん植樹をドタキャンして申し訳ありませんでした。もう一つ、ヘタな幹事報告ですみませんでした。次回は前準備をして対応します。
- **延岡研一会員** 「九電の森ひとよし」の植樹への参加ありがとうございました。来年以降も宜しくお願いします。
- **片岡忠雄会員** 植樹活動にご協力いただき有難うございました。
- **水野虎彦会員** 白濱局長、卓話有難うございました。仕事の都合で早退致します。
- **片岡啓一会員** 同級生の白濱局長の卓話有難うございました。
- **和田栄司会員** 九電の植樹、お世話になりました。ちょうど2人目の孫の節句と一緒に日でしたので良い記念になりました。来年も参加します。

ニコニコ・ごめんねカード3/9 合計11,000

#### 【R財団カード】 和田栄司委員長

- **和田栄司会員** 2/24、小林清市先生のR情報委員会のポリオ卓話ありがとうございました。1952年に米国で大流行に見舞われたとありました。日本でも同じだったのかと改めて思いました。
- **山賀勝彦会員** 白濱局長様、本日は年度末のお忙しい時期に卓話を頂き、誠に有難うございました。今後のご活躍を祈念します。
- **本田節会員** 弟、徳田正臣が相良村長二期目の当選をさせて頂きました。ロータリアンの皆様にも大変お世話になりましたので財団に寄付させて頂きます。今後共ご指導の程宜しくお願いします。

点 鐘 山賀勝彦副会長